

座間谷戸山公園 概要書

1 座間谷戸山公園の概要

(1) 概要

- ・ 座間谷戸山公園が計画された当時は、神奈川県では都市化が進み、緑が減少していく中で自然とのふれあいのニーズが高まっていたが、本公園は、座間市の中心部にまとまった樹林地や谷戸地形が残されていたことから、従来の施設導入型の都市公園ではなく、自然環境を生かしながら自然とふれあえる公園づくりをすべく、日本で最初の自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）として、昭和63年1月に都市計画決定された。
 - ・ 本公園は、谷戸地形に代表される湿地環境と斜面の雑木林で構成され、その空間に様々な生きものたちが生育・生息し、「生きた自然博物館」として、自然を生かした公園となっている。

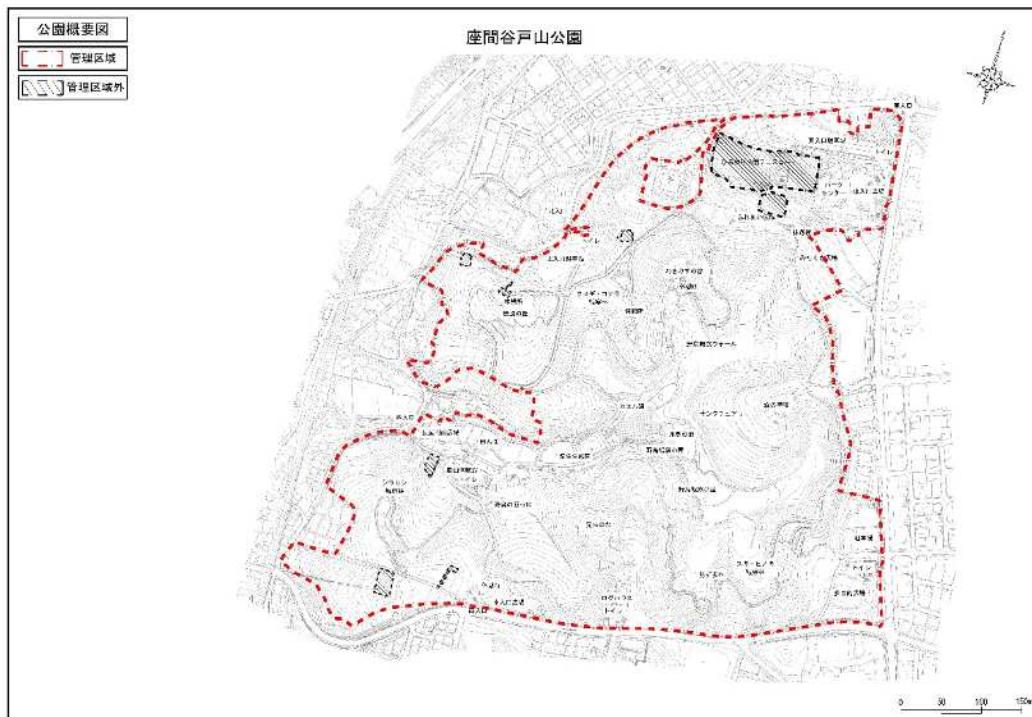
公園名	座間谷戸山公園
公園種別	風致
所在地	座間市入谷東一丁目
開園年月・面積	令和4年4月 31.01ha
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急線「座間駅」から徒歩10分 ・小田急線「相武台前駅」から徒歩15分 ・東名高速道路「横浜町田 IC」「綾瀬 SIC」より約20分
駐車場	普通車146台（東入口駐車場78台、北入口駐車場39台、多目的広場駐車場29台）（無料）
主要施設	里山体験館、パークセンター、野鳥観察小屋、ログハウス、水鳥の池、湿生生態園、クヌギ・コナラ観察林、シラカシ観察林
既設収益施設	テニスコート（座間市管理）
建ぺい率	0.35%
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	鳥獣保護区等、埋蔵文化財包蔵地
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
地域防災計画	指定緊急避難場所、広域避難場所（東入口一帯）
指定期間	令和4年度～令和8年度（令和10年度まで2年延長予定）

(2) 位置図



座間谷戸山公園 概要書

(3) 公園管理区域図



(4) 公園施設位置図



【主な公園施設】

園路及び広場	東入口広場、多目的広場、南入口広場、ふれあい広場、みちくさ広場、散策路、木道
便益施設	駐車場、トイレ
修景施設	水鳥の池、わき水の谷、
管理施設	パークセンター、ログハウス
その他	クヌギ・コナラ観察林、伝説の丘、シラカシ観察林、スギ・ヒノキ観察林、森の学校

座間谷戸山公園 概要書

(5) 公園ホームページ（公園施設の写真等の詳細は、下記 URL を参照）

<https://www.kanagawa-park.or.jp/zamayatoyama/>

(6) 公園利用者数（年度別・月別）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R 4	35,458	42,716	42,938	37,071	36,411	35,426	39,827	43,753	33,364	39,003	36,954	38,751	461,672
R 5	44,540	41,927	40,196	39,205	35,552	37,989	42,025	49,513	37,493	37,022	33,012	39,175	477,649
R 6	41,316	43,460	39,565	36,260	32,563	33,663	43,447	50,846	34,881	36,248	35,742	33,800	461,791

(7) 駐車場利用台数（年度別・月別）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R4	大型 普通 二輪 計	0 9,358 — 9,358	0 11,025 — 11,025	0 9,982 — 9,982	0 9,640 — 9,640	0 9,198 — 9,198	0 9,091 — 9,091	0 10,393 — 10,393	0 11,255 — 11,255	0 8,393 — 8,393	0 9,708 — 9,708	0 9,691 — 9,691	0 10,142 — 10,142	0 117,876 — 117,876
	大型 普通 二輪 計	0 10,808 — 10,808	0 10,702 — 10,702	0 9,702 — 9,702	0 9,805 — 9,805	0 8,777 — 8,777	0 9,512 — 9,512	0 10,640 — 10,640	0 10,616 — 10,616	0 9,177 — 9,177	0 9,286 — 9,286	0 8,460 — 8,460	0 9,521 — 9,521	0 117,006 — 117,006
	大型 普通 二輪 計	0 9,780 — 9,7800	0 10,322 — 10,322	0 9,326 — 9,326	0 8,870 — 8,870	0 7,458 — 7,458	0 8,117 — 8,117	0 9,423 — 9,423	0 10,940 — 10,940	0 8,333 — 8,333	0 8,614 — 8,614	0 8,866 — 8,866	0 8,779 — 8,779	0 108,828 — 108,828
R6	大型 普通 二輪 計	0 9,780 — 9,7800	0 10,322 — 10,322	0 9,326 — 9,326	0 8,870 — 8,870	0 7,458 — 7,458	0 8,117 — 8,117	0 9,423 — 9,423	0 10,940 — 10,940	0 8,333 — 8,333	0 8,614 — 8,614	0 8,866 — 8,866	0 8,779 — 8,779	0 108,828 — 108,828

利用者数の特徴	紅葉シーズンの11月が一番多く次いで春の4～5月の利用が多いが、年間をとおして平均的な利用がある。
---------	---

(8) 公園での主なイベント

開催月	イベント名	参加人数	概要
4月	ヤトヤマーマーケット	約4,500人	手作り作品や植物の販売、ワークショップ、キッチンカーの出店
5月	スマイルマルシェ	約3,000人	ワークショップ、ハンドメイド作品の販売やキッチンカーの出店
10月	スマイルマルシェ	約4,000人	ワークショップ、ハンドメイド作品の販売やキッチンカーの出店
10月	ヤトヤマーマーケット	約4,000人	手作り作品や植物の販売、ワークショップ、キッチンカーの出店
11月	ヤトヤマーマーケット	約2,000人	犬猫保護活動、手作り作品や植物の販売、ワークショップ、キッチンカーの出店
11月	谷戸山公園まつり	約5,000人	コースター作り体験、野菜、菓子の販売、お囃子、マルシェなどの開催

(9) 指定管理料収支（第4期）（2年延長分の指定管理料（予定額）も含む）

区分	収支状況（千円）							備考
	R4	R5	R6	R7(計画)	R8(計画)	R9(予定)	R10(予定)	
収入	指定管理料	61,519	62,788	62,788	62,788	62,788	89,402	89,402 県からの委託料
	駐車場収入	0	0	0	0	0	—	—
	自販機利益	1,794	2,188	2,112	2,300	2,300	—	—
収入計（A）		63,493	64,976	64,900	65,088	65,088	—	—
支出	管理運営費	62,133	64,645	65,947	63,609	—	—	人件費、事務費、光熱水費等
	修繕費	637	1,671	1,175	1,039	—	—	指定管理者実施の小規模修繕
	その他支出	440	440	440	440	—	—	一般管理費等事務経費
支出計（B）		63,210	66,756	67,562	65,088	—	—	—
收支差（A-B）		283	-1,780	-2,662	0	—	—	—

※R4～R6 は実績額、R7～R10 は計画額

(10) 収益施設

○ テニスコート（座間市管理）

座間谷戸山公園 概要書

2 座間谷戸山公園の魅力とめざす姿

(1) 公園の魅力

- 自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）

本公園は、都市化が進み、緑が減少していく中で自然とのふれあいのニーズが高まっていたなか、座間市の中心部にまとまった樹林地や谷戸地形が残されていたことから、従来の施設導入型の都市公園ではなく、自然環境を生かしながら自然とふれあえる公園づくりをすべく、日本で最初の自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）として、昭和63年1月に都市計画決定された。

- 「生きた自然博物館」としての公園

谷戸地形に代表される湿地環境と斜面の雑木林で構成され、その空間に様々な生きものたちが生育・生息しており、散策しながら自然とふれあうことで楽しく里山環境のことを学ぶことができる。

- 自然を活かしたさまざまなイベントの場としての公園

自然観察会、雑木林管理、田植え、農作などの様々な体験をすることができる。

(2) 公園のめざす姿

- 県央地域に残る「里山・谷戸」の景観や、動植物の生息環境の保全を図る

- ボランティアによる里山保全活動を通じた里山景観の保全、生物の多様性の確保を図る

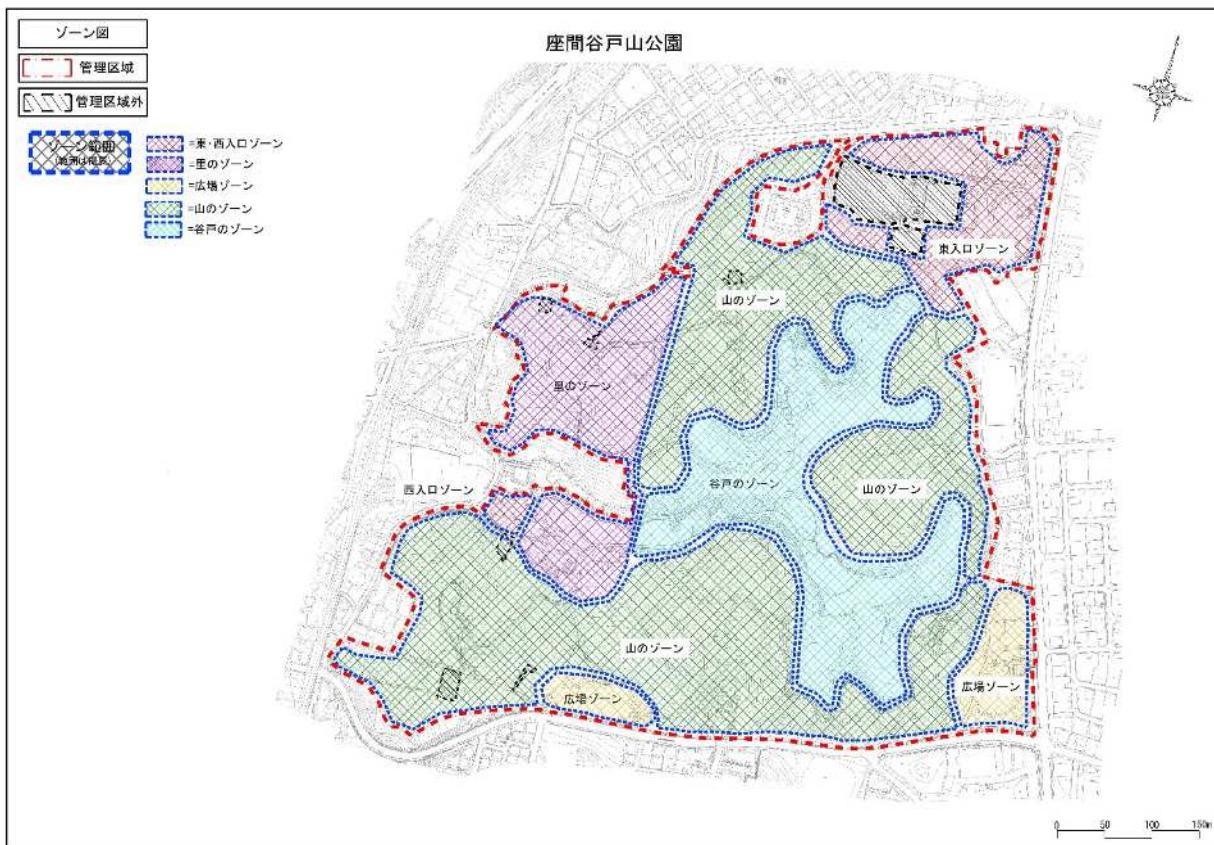
- 地域の避難利用の場として、災害時における防災機能の確保する

【谷戸山憲章】

1. 谷戸山内のものは持ち出さない。（土、生き物、石）
2. 谷戸山以外のものは持ち込まない。（ゴミ、犬の糞、外来種）
3. 谷戸山の多様な自然環境を生かした利用をする。
4. 谷戸山は市民参加（ボランティア）活動を促進する。

座間谷戸山公園 概要書

3 公園のゾーニングとゾーニングごとの整備・管理運営方針



○ 谷戸のゾーン

谷戸をせき止めて作られた人工池(水鳥の池)を中心とするゾーンで、野鳥やホタルなど水辺の動植物、およびその生息環境の保全・育成を図るとともに、観察・観賞できるよう維持管理を行う。

○ 山のゾーン

「谷戸のゾーン」を取り囲む斜面と尾根を含む樹林地で、雑木林をはじめとするさまざまな里山の樹林とそこに見られる動植物の生態を観察・観賞できるよう維持管理を行う。

○ 里のゾーン

谷戸入口の水田と畠を中心とする「里」の風景、及び自然環境をテーマとしたゾーンです。ボランティアや県民協働による維持管理活動に特に尽力するゾーンとし、人と自然が調和し、人と自然が共に生き生きとした里山風景の創造と保全を進める。

○ 東入口ゾーン

幹線道路に接し、公園利用者が集中する本公園のメインエントランス、地域振興や市民活動の場として各種イベントができる広場になっており、ごみや落ち葉の清掃を徹底し、清潔で快適な管理レベルを維持する。また、各公園施設への導入部であることから、パークセンターを活用し、各種自然情報や公園施設の案内、イベント情報、マナー・注意事項などの情報提供を行う。

○ 西入口ゾーン

小田急電鉄座間駅、および座間市街地からのアプローチに対するメインエントランスとなっており、ごみや落ち葉の清掃を徹底し、清潔で快適な管理レベルを維持する。また、各公園施設への導入部であることから、公園施設の案内、イベント情報、マナー・注意事項などの情報提供を行う。

○ 広場ゾーン

幹線道路に接し、外部からアプローチしやすい広場となっており、休息や軽運動の場として快適な利用が出来るよう、芝生を管理する。

座間谷戸山公園 概要書

4 重点的な整備を検討している施設

名称	所在ゾーン	事業目的
園路・木道	全域	老朽化施設の更新等
四阿	全域	老朽化施設の更新等
誘導案内板	全域	防止機能の向上（指定緊急避難場所への誘導）
樹林地、水辺環境整備	全域	防災機能の向上、自然環境の保全
都市計画道路（座間南林間線） 関連事業	東入口ゾーン、山のゾーン、里のゾーン	防災機能の向上・施設の充実・自然環境の保全

5 想定する公民連携の事業イメージ

(1) Park-PFI 等公民連携による事業イメージ

ゾーン	想定される施設	想定する事業イメージ
全域	自然環境教育の充実（ソフト施策）	有料で質の高い自然体験や自然観察などを親子連れに提供する。（室内はパークセンターレクチャールームを活用）
山のゾーン	カフェ等軽飲食店	ログハウスを改修し、軽飲食を提供する。

※イメージであり、上記に限定するものではありません。

(2) 実施が難しい公民連携施設

ゾーン	想定される施設	理 由
全域	大型施設	森林の皆伐が伴うような大型施設は、自然環保全の観点から難しい。

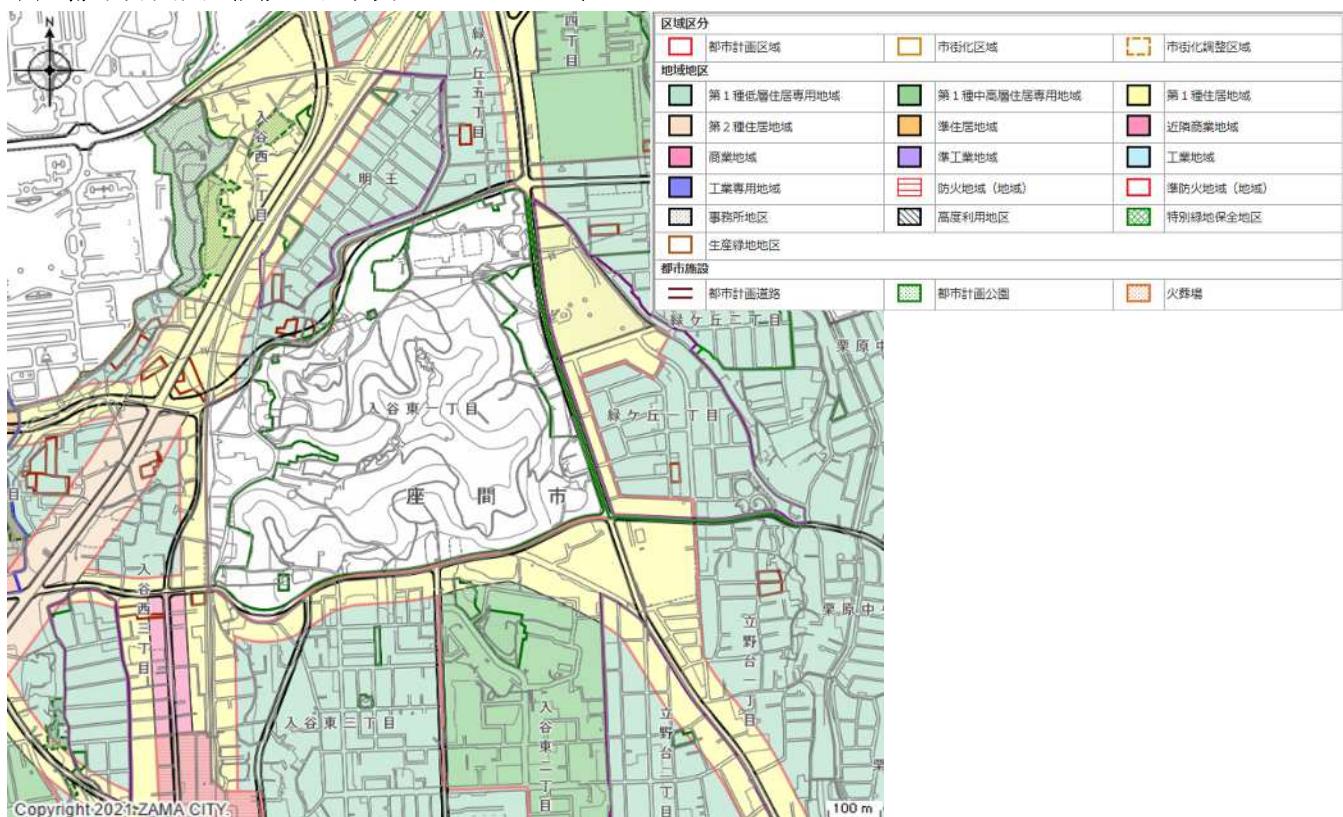
(3) 県が基盤整備する内容

ゾーン	施設	備考
山のゾーン	ログハウス	P-PFI 等公民連携の可能性が見えてきた際には、左記の施設を民間事業者と協議の上、整備内容等を決める。

※その他は「4 重点的な整備を検討している施設」を参照。

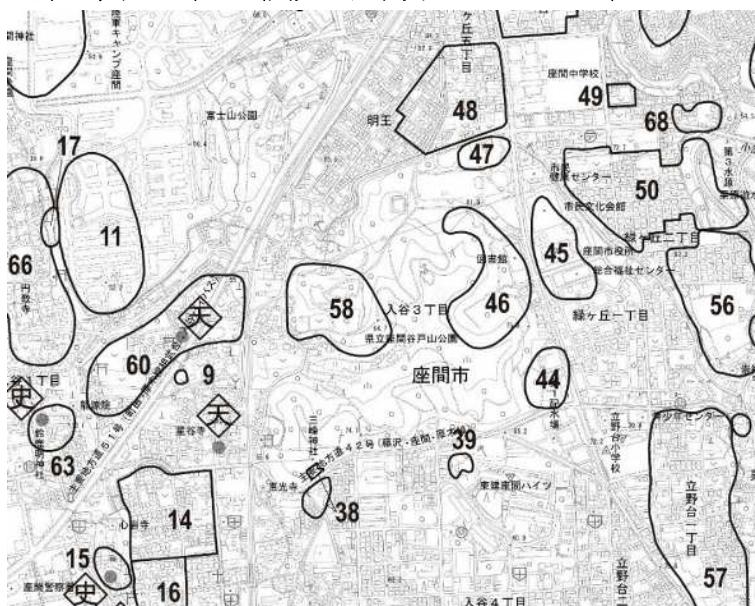
6 規制図等

(1) 都市計画図（出典：座間市ホームページ）



座間谷戸山公園 概要書

(2) 埋蔵文化財包蔵地（出典：座間市ホームページ）



(3) 鳥獣保護区等(出典:神奈川県ホームページ)



(4) 土砂災害警戒区域

